

新緑の季節になりました

日中は夏日を記録する日も増え、夏めいた気配が感じられるようになってきました。大型連休も終わり、新しい環境の中ではりきって生活してきた子どもたちにも、そろそろ疲れがみえるころです。元気で楽しく通級できるよう、体調には十分に気をつけてお過ごしください。

子どもの話を聴くときは (兵庫県教育委員会 防災マニュアルに基づいて) 文：篠原 久美子

- 子どもの声を聴くときは、教えてもらう気持ちでね
一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界
子どもの世界の扉はね、内側からしか開かないの
信じるおとなに向かってね
- 子どもの話を聴くときは、じっくり、ゆっくり、ゆったりね
言おうと思うと時間切れ、中途半端は苦しいよ
子どものつらさと言葉はね、外に出るまで時間があるの
待ってる時間も、聴いてる時間
- 子どもの話を聴くときは、「聴いてるサイン」を伝えてね
あいづちうって、うなづいて、子どもの言葉を繰り返し
不安な気持ちの子どもはね、小さな合図で安心するの
「ぼくを分かって くれてるな」って
- 子どもの話を聴くときは、途中で止めたりしないでね
批判をしたりまとめたり、言い聞かせないでただ聴いて
おとなが口を開くとね、子どもの口が閉じてくよ
知りたいのなら、耳、開こう
- 子どもの話を聴くときは、瞳のサインをみていてね
子どもはたいいていおとなのね、目なんか見ては話せない
それでも分かってほしいとき、瞳で合図を送ってる
見逃さないで、みていてね
- 子どもの話を聴くときは、顔の高さを合わせてね
上から見下ろされるとね、だれでもちょっと堅くなる
視線の低い子どもにね、しゃがんで視点を合わせてね
子どもが話しやすいから
- 子どもの話に答えるときは、声の調子を同じにね
大きな声や高い声、おとなのいらいら伝わるよ
子どもは意味を知らなくてもね、声で気持ちが分かるんだ
言葉が出にくくなっちゃうよ
- 子どもの不安を聴くときは、子どもの気持ちを感じてね
「なぜ?」「どうして?」が、問いつめに感じてしまうとき、あるの
子どもの心配、不安はね、「不安なの?」って繰り返してね
答えは、一緒に考えて
- 子どもの不安を聴くときは、すぐに原因、決めないで
「地震のせいだ」「性格だ」、決めてもそれは答えじゃないの
子どもを取り巻く世界もね、子どもの心も単純じゃない
広く大きな視野で見えて
- 子どもの悩みを聴くときは、子どもの力を信じてね
しっかり聴いて、じっくり支え、色んな見かた のアドバイス
だけど最後は子どもがね、子ども自身で解決するの
おとなが信じた子どもはね、乗り越えられるよ、大丈夫

これは、阪神淡路大震災の後に兵庫県の教育委員会が作った10項目を、劇作家の篠原久美子さんが詩にしたものだそうです。震災で被害を受けた子どもたちの心のケアをするには、どのように話を聴いたらいいのかが書かれています。

この詩には、子どもと接する大人が 日頃から大切にしなければならないことが、たくさんつまっていると思います。ことばの教室では、「子どもの話を聴く」ということを、大切にしていきたいと思っています。

6・7月の予定

日	曜	行事予定	
		午前	午後
6/15	日		
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		※通級担当者研修会 14:00～ 芝川小
25	水		
26	木		
27	金		※埼特研難言部会 13:40～ 入間市立豊岡小
28	土		
29	日		
30	月		
7/ 1	火	※通級指導教室 新担当教員研修会 9:15～16:30	
2	水		
3	木		※就学支援委員会 13:30～ 青少年センター 高野
4	金	個別指導最終日	※校内授業研究会 13:45～
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		

5月7日(水)現在の行事予定です。都合により、変更となることもあります。

おしらせ

- ◆6/24(火) 午後の指導はありません。
- ◆6/27(金) 午後の指導はありません。
- ◆7/ 1(火) 指導はありません。
- ◆7/ 3(木) 高野の午後の指導はありません。
- ◆7/ 4(金) 午後の指導はありません。